

科目名	新興国経済と日本の中小企業 Emerging economies and Japanese SME		選択	2 単位
学期・曜日・時限	秋・火・5 限	-	-	-
担当教員名	穆(ムウ) 堯芋			
<p><講義の概要と目的></p> <p>「新興国」のうち、日本から比較的近い北東アジア・東南アジアを対象とし、これらの地域の最新の経済状況を確認するとともに、これら地域での地方中小企業の活動（貿易・投資）の実態に触れ、その魅力と難しさを感じ取ってもらいます。</p> <p>講義はオムニバス方式で行い、毎回それぞれのテーマについて講師が講義を行います。各国・地域の経済状況に関する講義は主として当該地域の経済分析を行っている研究者が担当します。また、地方中小企業の活動実態に関する講義は、実際に事業展開を行っている企業経営者もしくは中小企業の活動を支援する各種機関等の担当者が行います。</p> <p>物理的にも心理的にも身近な新興国での中小企業のビジネス展開について、当事者の立場やそれを支援する立場など、さまざまな立場から多面的に考えることを通じて、自らの身に置き換えて具体的なソリューションを探るための視点や切り口を見つけることを目標とします。</p>				
<p><講義計画></p> <p>1 週目（10 月 10 日）：</p> <p>「中小企業の海外ビジネスを担う人材確保」 穆堯芋（ERINA 調査研究部研究主任）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環日本海経済研究所（ERINA）が過去 11 年間開催してきた留学生のための就職相談会などを通じて把握した新潟県内企業による留学生採用の実態・課題 <p>2 週目（10 月 17 日）：</p> <p>「本講義全体のガイダンス」 穆堯芋（ERINA 調査研究部研究主任）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「製造業の新興国への進出」 関聡彦（hakkai（株）代表取締役社長） ・プラスチック製品メーカーである hakkai 社（南魚沼市）がタイ・中国・フィリピンに工場進出した経緯・課題と今後の展望 <p>3 週目（10 月 24 日）：</p> <p>「食品の輸出（酒）」 平島健（尾畑酒造（株）代表取締役社長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「真野鶴」ブランドを持つ尾畑酒造（佐渡市）による日本酒の海外輸出の実情・課題と今後の展望 <p>4 週目（10 月 31 日）：</p> <p>「新興国経済～中国の地域経済と各地方の様相」 穆堯芋（ERINA 調査研究部研究主任）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成長率の減速を容認する政策に転換した中国経済の変容の状況 ・地理、歴史、気候などの様々な要素を反映した中国国内における地域性の違い 				

5 週目 (11 月 7 日) :

「モンゴル経済」 ダワージャーガル (在日モンゴル大使館参事官 商務・経済担当) 交渉中
・人口 300 万人弱の内陸国でありながら、鉱業を中心に急速な経済成長を遂げてきたモンゴルでの
ビジネスチャンス

6 週目 (11 月 14 日) :

「農業機械のビジネス展開と外国人人材の活用」 清水和夫 (フジイコーポレーション株式会社総務
部シニアアドバイザー)
・除雪機、農業機械の生産・販売を行う県内企業の立場から見た外国人留学生の活用の現状と展望

7 週目 (11 月 21 日) :

「サービス業の海外進出」 宮崎富夫 ((株)宮崎商店副社長)
・新潟県内で「富寿し」チェーンを展開する宮崎商店 (上越市) がシンガポールにすし店を進出した
経緯・課題と今後の展望

8 週目 (11 月 28 日) :

「地方銀行による中小企業の海外進出支援」 周思謀 ((株)北越銀行コンサルティング営業部三条駐
在上席調査役)
・県内企業の海外ビジネス拡大を支える北越銀行 (長岡市) の取組と今後の展望

9 週目 (12 月 5 日) :

「地場産業企業の海外展開と技術支援」 塩浦時宗 (塩浦技術士事務所所長、元燕三条地場産業振
興センター専務理事)
・中国・ベトナムなど新興国における燕三条地区の地場産業企業の海外展開と技術支援の状況

10 週目 (12 月 12 日) :

「中国東北部への進出」 及川英明 (ACROSS JAPAN(株)代表取締役)
・遼寧省・吉林省及び黒龍江省を中心に日本企業の中国ビジネス支援を行っている立場からの、現地の
外資企業が日々直面している問題の紹介、今後の進出の可能性、対応策の検討

11 週目 (12 月 19 日) :

「ロシアビジネスの現状」 高橋克郎 (株式会社 JSN)
・ロシアビジネスの最新情報、ロシア極東市場の動向、コンサルタント・貿易・ビジネスサポートの
心構え等

12 週目 (1 月 9 日) :

「アジア太平洋の FTA」 中島朋義 (ERINA 調査研究部主任研究員)
・WTO と FTA の関係、TPP 構想とその挫折、今後の経済統合の展望

13 週目（1 月 16 日）：

「新興国経済～東南アジアの状況」 舟橋學（国際協力機構（JICA）産業開発・公共政策部民間セクターグループ）

・インドネシア・ベトナムなど、近年日本企業の進出意欲が高い東南アジア地域諸国の経済・社会の状況

14 週目（1 月 23 日）：

「メコン地域の最新動向と ジェトロによる中小企業の海外展開支援」 小野澤麻衣（JETRO 新潟貿易情報センター所長）

・日本貿易振興機構（JETRO）が実施している中小企業向けの海外進出支援メニューと活用事例の紹介

15 週目（1 月 30 日）：

「ロシア経済の課題と極東開発」 新井洋史（ERINA 調査研究部長、主任研究員）

・ロシア経済はマイナス成長が続くなど経済成長の鈍化に苦しむロシアが抱える課題

・ロシア政府が力を入れている極東開発の行方

※都合により、講義の順序が入れ替わったり、講師が変更になったりする場合があります。

<講義の進め方>

原則として、各講師による講義（60 分程度）の後に、質問もしくはディスカッションの時間（30 分程度）を設けます。

<教科書及び教材> 特になし。（各講師がその都度、必要に応じて教材を用意します。）

<参考書> 特になし。

<成績評価方法>

・欠席 6 回以上は成績評価しません。

・学生から多くの質問を期待します。質問内容を受講票にメモしていただき、成績評価に加点します。

・受講態度（遅刻等）、質問、期末レポートを 20%、30%、50%の比率で評価します。

<履修条件> 特になし。

<DVD による視聴> 可

<オフィスアワー>

非常勤講師によるオムニバス方式の講義のため、メールにて事前に連絡するようにしてください。

<その他>

毎回の講義を受講する前に、各講師の所属企業（団体）の会社概要・事業概要をウェブサイト等で把握しておいてください。